## 平成 19 年度 **事務事業マネジメントシート**

作成日 平成 19 年 7 月 3 日作成 点検日 平成 19 年 7 月 5 日作成

	事務事業名 男女共同参画まちづくり講座事業					□ マニフェスト	·関連	☑ 全庁横断課題関連			
	Ę	<b>対策名</b>	総 合 0	4	んな元気で笑顔	jあふれるまち	づくり 別	<b>「属部</b> 総務企画	前部	所属課 総	務課
	施策名 計				ච	<b>「属係</b> 総務選挙	<b></b>	課長名 出	口増穂		
	基本	事業名	体 系 6	3 男	女共同参画社会	会に対する理解	解の促進 担	当者名 飯開輝/	(雄	電話番号 09 (内線) 12	6-248-1112 18
	予	算科目	<b>会計</b> 0 1	<b>款</b> 0 2	項     目     事       0     1     1     5	業	ä	<b>法令根拠</b> 男女:	共同参画社会基	基本法	
	事	業期間	<b>》</b>	年度のる	74 🔲	単年度繰返 ┗・( 開始年	度年	□期間 度 ~ ) <b>□</b> (	限定複数年度→全 年度		、量を記入 年度 )
					)方、手順、詳紙	⊞。期間限定複	夏数年度事業は	(全体像を記述)		間限定複数年度の	\ 1 I— 7 I I I I 7
コン業施開	18年第第第十一8年第第第十一8年第第第十二18年第二十二日18日18日18日18日18日18日18日18日18日18日18日18日18日	:度:男女共同 第1回:男女共  第2回:男女共  第3回:男女共  下・寸劇・講済 でのでのでいる。 では、これでは、 では、男女は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	参司司司会会を表する。	まちづくりですまちができます。 はままちができまちがいる かいまえ 開者を開者をある。	の一環として、市 の一環として、市 の講座を年3回、啓 くり講座「女と男の くり講座「女と男の くり講座「男女共同 、その中で啓発イ よる。 ④講座の開信 サ、需用費、役務	・発イベントとし あり方トーク」… あり方コンサー 引参画・気づき・ ベントの講師等 崔準備・実施・カ	て実施する事業。 男女共同参画のト」…寸劇・コンサうなずきフェスティの内容を検討すったづけ⑤アンケ	取組み報告・講流 ート・替え歌 パバル」…オープコ る。②市長決裁に	業費 総投入 より実 法会を 社の集	地力損	<b>0</b> 数 0
		犬把握の部(									
19 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	(1) 事務事業の目的と指標 ① 手段(主な活動) 18年度実績(18年度に行った主な活動) 同上  19年度計画(19年度に計画している主な活動) ・ペアテの贈りもの上映 ・男女共同参画直言都市イベント ② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民(18歳以上)  ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・男女共同参画の重要性を認識できるようになる。 ・生活に活かしていくようになる。 ・生活に活かしていくようになる。  ④ 結果(どんな結果に結び付けるのか) ・男女共同参画について正しく理解するようになる。  ② 特殊(は無限事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称  「別女共同参画まちづくり講座参加者数 人 「別女共同参画まちづくり講座参加者数 し 「別女共同参画まちづくり講座参加者数 」 「単位 「別女共同参画まちづくり講座参加者数 」 「単位 「別女共同参画まちづくり講座参加者数 」 「別女共同参加また」「別女共同表面を表す指標)数字は記入しない 名称 「別女共同参加また」「別女共同表面を表す指標)数字は記入しない 名称 「別女共同を表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを表すを										
(2)	総	事業費∙指標	等の	推移				<u>'</u> ウ			
				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投	事業	財 調 調 調 調 調 地方( その( 記 の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に に に に に に に に に に に に	出金 責 <b>也</b>	千円 千円 千円 千円			40	680 40	40		40
入	-	N 一般財 事業費計		千円	0	0	498 538	129 849	559 599	55 59	
量		正規職員従事	人数	人			4	4	4		4 4
	件費	延べ業務時 人件費計		時間 千円	0	0	960 3,811	960 3,811	960 3,811	96 3,81	
		-タルコスト(A)		千円	0	0	4,349	4,660	4,410	4,41	
	ï	舌動指標	ア イ ウ	<u>回</u> 人			3 1000	2 1100	2 1000	10	2 2 00 1000
	Ż	対象指標	ウ ア イ ウ	人 人 人			39000 19500 19500	39500 19800 19700	40000 20000 20000	405 202 202	50 20500
	J.	<b></b>	アイウ	% % %			85 85	90 90	90 90		90 90 90 90
			ウア	% %			85	90	90		90 90
	上位	立成果指標	イウ								

合志市

		<b>事務事業名</b>	男女共同参画	まちつくり講座事業	<b>所属</b> 部	総務企画部	所属課 総	<b>務課</b>	
				LE.					
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 11年、国が男女共同参画社会基本法を制定。これにより自治体の推進義務が発生し、講座を予算化。18年度の合併により、統								より、統合して講座を継続実	
施。 ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 法律や制度上ではかなり達成されてきたようにみえるが、社会の現状を見ると依然として固定的役割分担等の課題は多い。									
L,	<u> </u>	- のまなま光(-1	41 一田 (大文 / /)			メケンムこいたみロ	4. 莱州珍南 1	154-71,74,0	
(	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? ①講座のアンケートでは、「男性の参加が少ない」「同じ顔ぶれが多い」との意見があがっている。								
	2	評価の部(SEE):	* 原則は事後評	で価、ただし複数年度事業に	は途中評価	<u> </u>			
		①政策体系との彗	整合性	見直し余地がある ⇒【理		⇒3 改革·改善方向	の部(3枚目	シート)に反映	
		この事務事業の目的 系に結びつくか?意 果に結びついている	図することが結	▼ 結びついている ⇒【理・男女共同参画の重要性を認	<b>里由】→</b> 識すること	により、性差別がなくなり	)、人権が尊重	される社会づくりに結びつく。	
ı	目的	② 公共関与の妥	当性	<ul><li>□ 見直し余地がある ⇒【理</li><li>☑ 妥当である ⇒【理</li></ul>	曲プシ	⇒3 改革·改善方向	の部 (3枚目	シート)に反映	
1	抨	なぜこの事業を市かならないのか?税金 成する目的か?		男女共同参画社会基本法にめ、男女共同参画社会基本法にめ、男女共同参画の重要性のおしてその認識と取り組みが	より自治体の認識をもつ	市民、生活に活かして	いく市民が増え		
1	価	③ 対象・意図の			■申】つ				
		対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		児童生徒に対しては学校教育 対象として今後も必要。 意図も	現状も適り	刃である。			
Ī		④ 成果の向上余成果を向上させる余		<ul><li>✓ 向上余地がある ⇒【理</li><li>✓ 向上余地がない ⇒【理</li><li>①講師の選定により、内容に</li></ul>	■由】つ		の部 (3枚目	シート)に反映	
		成果の現状水準とる の差異はないか?( 向上が期待できない	あるべき水準と 可が原因で成果	②参加者が固定化しているた ③男性の参加者が少ない。					
	有効	⑤ 廃止・休止の 事務事業を廃止・休		<ul><li>影響無 ⇒【理由】</li><li>影響有 ⇒【その内容】</li><li>男女共同参画の意識の向上</li></ul>		⇒3 改革·改善方向	の部(3枚目	シート)に反映	
1	性評価	響の有無とその内容	字は?						
1	픨	⑥ 類似事業との	統廃合•連携	☑ 他に手段がある 🤼 ( 🕽	具体的な	手段, 事務事業)			
		目的を達成するには以外他に方法はないとの統 を合ができる	いか?類似事業	<ul><li>✓ 統廃合・連携ができる</li><li>✓ 統廃合・連携ができな</li><li>○人権啓発教育課があり、その中で男っ</li></ul>	い ⇒【珥	由 ] つ		部(3枚目シート)に反映	
効率性評価		の連携を図ることに上が期待できるか?	より、成果の向	①人権啓発教育課の取り組みとともに、 ②動員や内容の連携で、広がりやすくた   他に手段がない  ⇒【理	男女共同参画	を含めた人権が尊重される社会	が配みての産扱は。 Piづくりを行う	BL <sub>0</sub>	
		⑦ 事業費の削減		□ 削減余地がない ⇒【理		⇒3 改革・改善方	う向の部(3枚	(目シート)に反映	
	効	成果を下げずに事業ないか?(仕様やエ 民の協力など)	法の適正化、住	講師謝金、花代、看板代を浮			d- a ta (a 11		
	性評	減余地			型由】 う 型由】 う	⇒3 改革・改善力	5向の部 (3枚	(目シート)に反映	
		で・ケアでエスして無減できないか?成男 正職員以外の職員いか?(アウトソーシ	見を下げずにより や委託でできな	いいたけいにより八十月が竹原	in ∠G,9º				
	公平	⑨ 受益機会·費戶 化余地		<ul><li>見直し余地がある ⇒【理</li><li>公平・公正である ⇒【理</li></ul>	曲】	⇒3 改革・改善方		(目シート)に反映	
1	·性評価	事業の内容が一部 ていて不公平ではた 負担が公平・公正に	いか?受益者	全市民に呼びかけ、人権が尊	重される社	:会づくりに寄与している	0.		

	事務事業名	男女共同参画まちづくり	)講座事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課			
		- 今後の方向性(次年度)	計画と予算への反映			口小上)				
(1)	1次評価者としての (1)目的妥当性		□ 見直し余地あり			いの中を変	で革しなければ意味がないが、			
	②有効性	□適切	<ul><li>見直し余地あり</li></ul>			回答者を	なりがちである。しかし、今後は、ア 手者を増やす取り組み、意見集約、 味が重要でなる。			
	③ 効率性	□適切	<ul><li>▼ 見直し余地あり</li></ul>	$\Rightarrow$	思元に対する対応寺	v) 天成//-	里女(める。			
	③	☑ 適切	□見直し余地あり							
	<b>⊕ Δ</b> +II	区 50	L 光直U水地的。							
<b>口以</b> (5)	廃止		事業統廃合・連携のやり方改善(公平性) のやり方改善(公平性) 会組織の連携を視野 関(壁)とその解決策	改善) :に入れた		善) (月	4) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 株 田 成 株 田 の と の は記入不要) コスト ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
	事務事業の2次記 1次評価結果の8	平価結果 F観性と出来具合 評価の記述内容を読んだ								
	□記述不足で □一部記述不 □記述は十分 ②評価の客観性が 図書観性を欠 □ 一部に客観 □ 客観的な評	わかりにくい 注のところがある なされている k準(2次評価を行った後 いており評価が偏ってい 性を欠いたところがある 価となっている(事務事	とに総合的に判断しる(事務事業の問題)	夏点、課題 「認識され	ている)					
(2)	2次評価者としての	の評価結果		(3	)評価結果の根拠と現	里由				
	① 目的妥当性	□ 適切	□ 見直し余地あり	J						
	② 有効性	□ 適切	□ 見直し余地あり	∫						
	③ 効率性	□ 適切	□ 見直し余地あり							
	④ 公平性	□ 適切	□ 見直し余地あり	J						
	廃止	効率性改善) □ 事業(で特に改革改善をしない)			のやり方改善(有効性改 <sup>:</sup>		5) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 成維 果 低 下 × × ×			
(6)	その他2次評価会	議で指摘された事項								